

令和5年度臨床検査部門の実態調査報告

神奈川県臨床検査技師会
調査委員会

当会では県内の医療機関を対象に臨床検査部門の動態を調査するために、毎年、アンケート調査を行っています。皆様の職場におかれましても、引き続き新型コロナウイルスの感染症に対応するために検査を行っているものと推察いたしております。今回の実態調査は、医療法一部改正に伴い臨床検査技師の業務範囲の拡大に伴う『タスクシフト・シェア』についてのご質問と新型コロナウイルス検査体制についてのアンケートとさせていただきます。皆様にご協力頂きましたアンケート調査の集計結果は当会の事業推進の参考と共に今後の皆様の施設での対応の参考になれば幸いと存じます。

【アンケート調査実施について】

1. 対象

神奈川県内の医療機関で神奈川県臨床検査技師会に登録された施設。

2. 方法及び内容

Google フォームを活用し、アンケート調査を実施した。

3. 調査集計期間

令和6年2月20日から3月1日

4. 案内配布施設数、回収施設数

案内配布施設：355施設、回収施設：110施設、回収率31.0%

【質問内容】

I 貴施設に関して

- 1、施設名の入力をお願いします
- 2、貴施設の施設分類についてお聞きします
①病院 ②クリニック ③研究所 ④検査センター ⑤健診センター ⑥その他
- 3、貴施設が病院の場合、許可病床数と1日平均外来患者数をお聞きします
- 4、貴施設に所属する臨床検査技師の人数を教えてください。
- 5、病院機能評価やISO-15189、日臨技品質保証施設認証を取得していますか
病院機能評価 ①取得済み ②未取得
ISO-15189 ①取得済み ②未取得
日臨技品質保証施設認証 ①取得済み ②未取得

II タスクシフト・シェアについて

- 1、現在、タスクシフト・シェアの研修が行われていることをご存じですか
①知っている ②知らない
- 2、タスクシフト・シェアに関する厚生労働大臣指定講習会修了者は何人ですか
①0人 ②1～3人 ③4～6人 ④7～9人 ⑤10人以上
- 3、所属部署にタスクシフト・シェアの業務要請はありますか
①具体的な業務要請あり
②具体的な要請はないが対応を求められている
③業務要請や対応を求められてはいない
- 4、業務要請や対応を求められている施設にお伺いします。

要請や対応を求められている業務はなんですか。

- ①採血を行う際に静脈路を確保し、当該静脈路に接続されたチューブにヘパリン加生理食塩水を充填する行為
 - ②採血を行う際に静脈路を確保し、当該静脈路に点滴装置を接続する行為
 - ③採血を行う際に静脈路を確保し、当該静脈路に血液成分採血装置を接続する行為、当該血液成分採血装置を操作する行為並びに当該血液成分採血装置の操作が終了した後に抜針及び止血を行う行為
 - ④超音波検査のために静脈路に造影剤注入装置を接続する行為、造影剤を投与するために当該造影剤注入装置を操作する行為並びに当該造影剤の投与が終了した後に抜針及び止血を行う行為
 - ⑤医療用吸引器を用いて鼻腔、口腔又は気管カニューレから喀痰を採取する行為
 - ⑥内視鏡用生検鉗子を用いて消化管の病変部位の組織の一部を採取する行為
 - ⑦運動誘発電位検査
 - ⑧体性感覚誘発電位検査
 - ⑨持続皮下グルコース検査
 - ⑩直腸肛門機能検査
 - ⑪その他
- 5、業務要請や対応を求められている場合、資格取得に関する費用はどうしていますか。
①全額支給される ②一部補助がある ③全額自費負担
 - 6、検査部からタスクシフト・シェアの提案をしていますか
①すでに提案している ②提案を検討している ③検討していない
 - 7、提案しているまたは提案を検討している施設にお聞きします。

提案しているまたは提案を検討している業務はなんですか

- ① 採血を行う際に静脈路を確保し、当該静脈路に接続されたチューブにヘパリン加生理食塩水を充填する行為
- ② 採血を行う際に静脈路を確保し、当該静脈路に点滴装置を接続する行為
- ③ 採血を行う際に静脈路を確保し、当該静脈路に血液成分採血装置を接続する行為、当該血液成分採血装置を操作する行為並びに当該血液成分採血装置の操作が終了した後に抜針及び止血を行う行為
- ④ 超音波検査のために静脈路に造影剤注入装置を接続する行為、造影剤を投与するために当該造影剤注入装置を操作する行為並びに当該造影剤の投与が終了した後に抜針及び止血を行う行為
- ⑤ 医療用吸引器を用いて鼻腔、口腔又は気管カニューレから喀痰を採取する行為
- ⑥ 内視鏡用生検鉗子を用いて消化管の病変部位の組織の一部を採取する行為
- ⑦ 運動誘発電位検査
- ⑧ 体性感覚誘発電位検査
- ⑨ 持続皮下グルコース検査
- ⑩ 直腸肛門機能検査
- ⑪ その他

8、タスクシフト・シェア業務実施に伴い、給与等に変化はありましたか。

- ① 給与上昇があった
- ② 手当が支給された
- ③ 変化なし

III 新型コロナウイルス感染症について

1、新型コロナウイルス感染症が5類移行後、新型コロナウイルスに関連した検査件数はどう変化しましたか

- ① 増加した
- ② 変化していない
- ③ 減少した

i) 抗原検査

- ① 増加した
- ② 変化していない
- ③ 減少した

ii) PCR(ランプ法を含む)検査、抗原定量検査等

- ① 増加した
- ② 変化していない
- ③ 減少した

iii) 抗体検査

- ① 増加した
- ② 変化していない
- ③ 減少した

2、新型コロナウイルス検査機器をその他の検査で活用していますか。

- ① すでに活用をしている
- ② 活用を検討している
- ③ まだ検討していないが今後活用を考えている
- ④ 活用する予定はない
- ⑤ その他

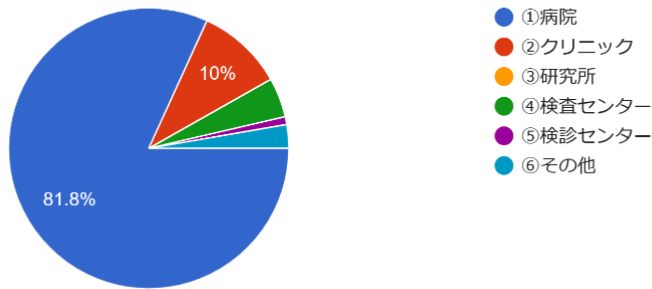
IV 今後パンデミックが発生した場合、課題となることは何だと思えますか (選択式)

- ① 検査機器の確保
- ② 試薬の調達
- ③ 消耗品の調達
- ④ 人員の確保

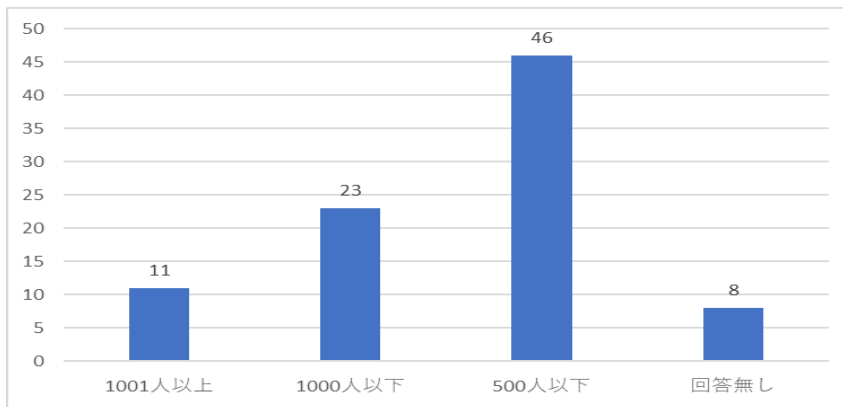
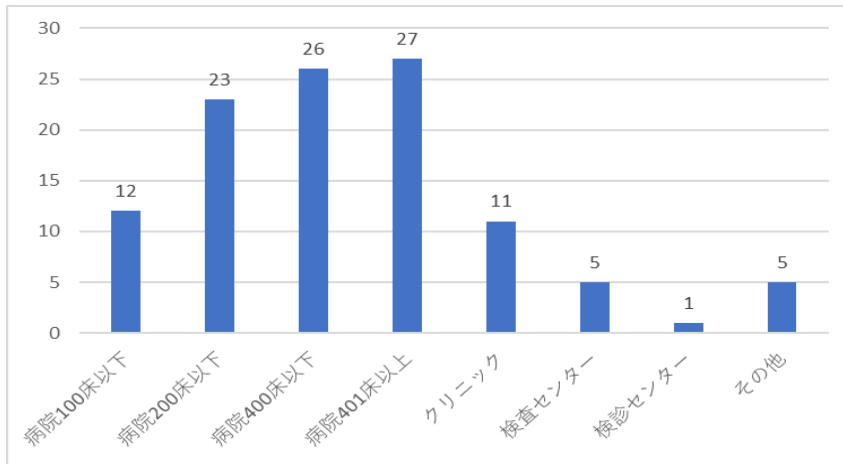
【令和5年度 アンケート結果】

I 貴施設に関して

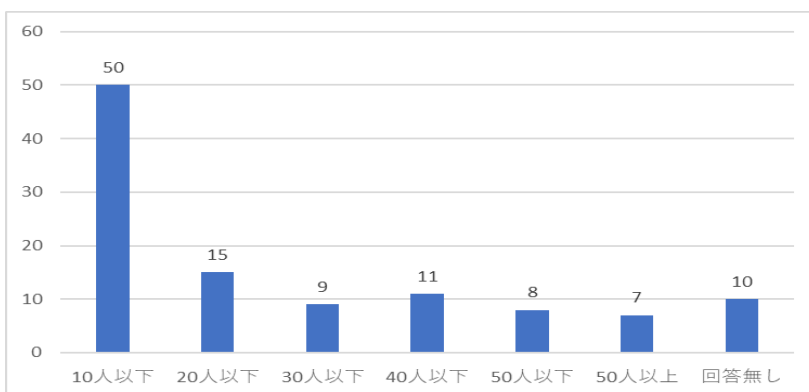
I-2, 貴施設の施設分類についてお聞きします
110件の回答



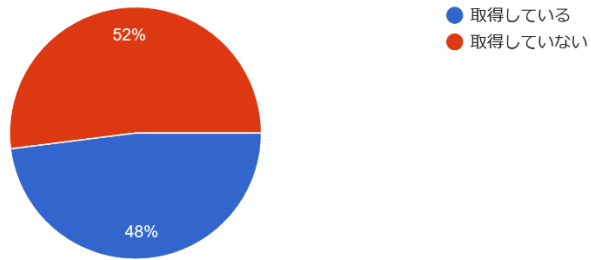
I-3, 貴施設が病院の場合、許可病床数と1日平均外来患者数をお聞きします



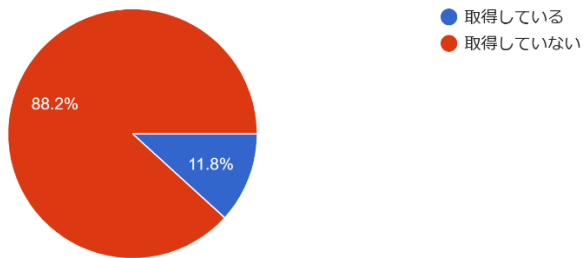
I-4, 貴施設に所属する臨床検査技師の人数を教えてください。



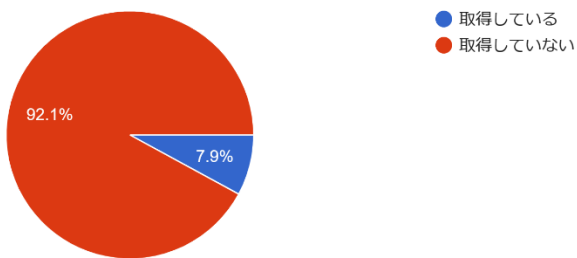
I-5 病院機能評価を取得しているかお聞きます
100件の回答



I-6 ISO-15189を取得しているかお聞きます
102件の回答

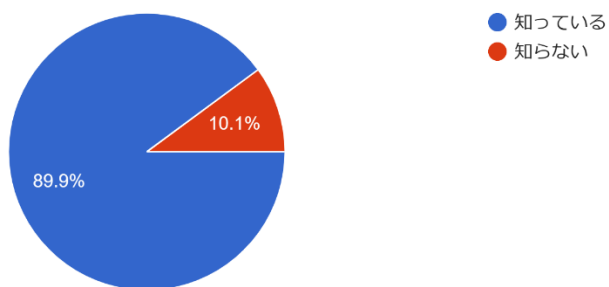


I-7 日臨技品質保証施設認証を取得しているかお聞きます
101件の回答



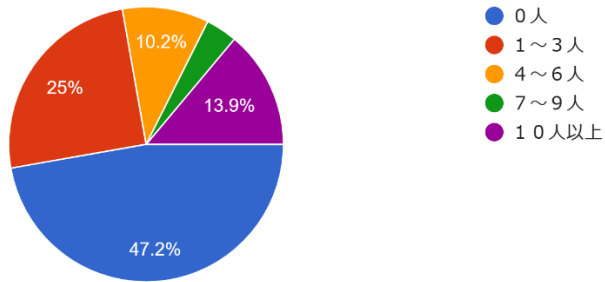
II タスクシフト・シェアについて

II-1 現在、タスクシフト・シェアの研修が行われていることはご存じですか
109件の回答



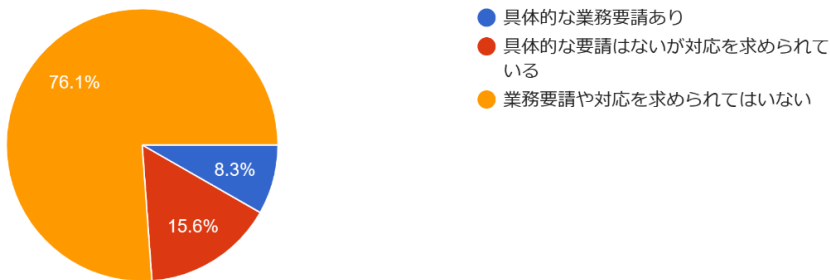
II-2 タスクシフト・シェアに関する厚生労働大臣指定講習会修了者は何人ですか

108 件の回答



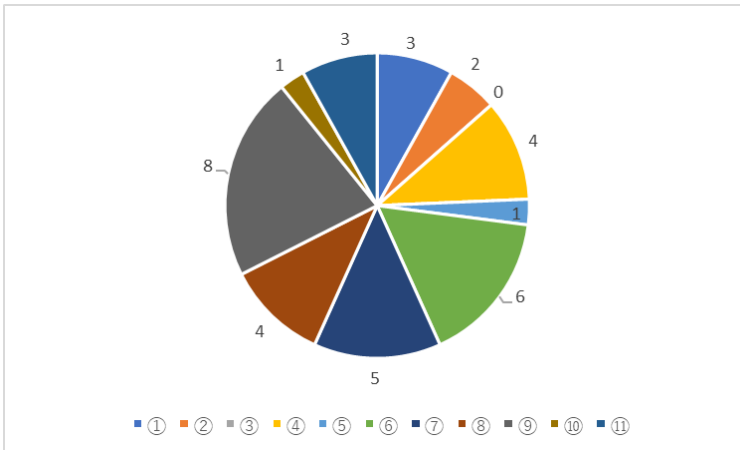
II-3 所属部署にタスクシフト・シェアの業務要請はありますか

109 件の回答



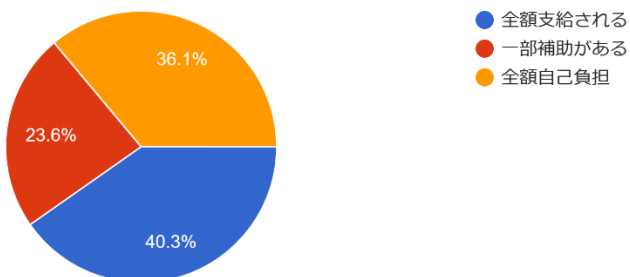
II-4 業務要請や対応を求められている施設にお伺いします。

要請や対応を求められている業務はなんですか。



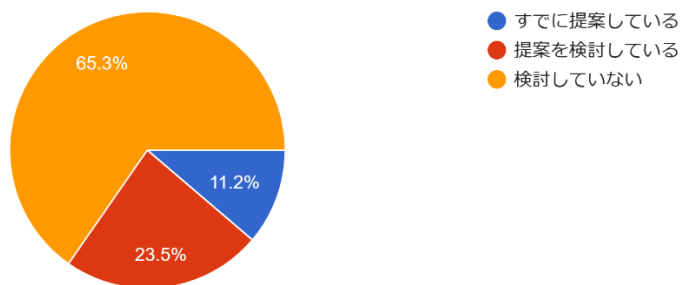
II-5 業務要請や対応を求められている場合、資格取得に関する費用はどうしていますか

72 件の回答



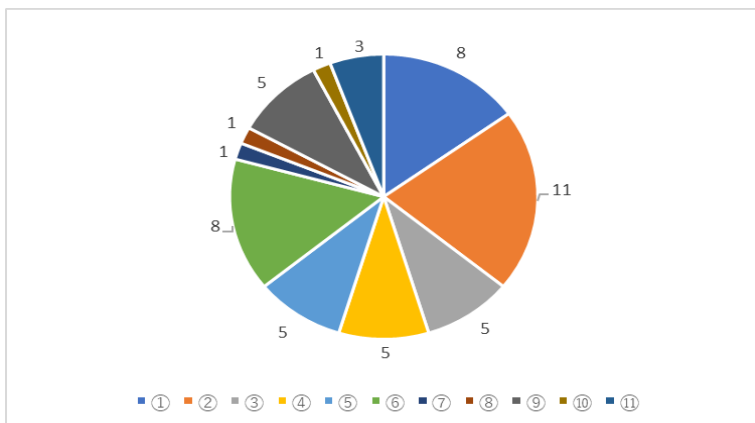
II-6 所属部署からタスクシフト・シェアの提案をしていますか

98件の回答



II-7 提案しているまたは提案を検討している施設にお聞きます。

提案しているまたは提案を検討している業務はなんですか



II-8 タスクシフト・シェアの業務要請に伴い、給与等に変化はありましたか

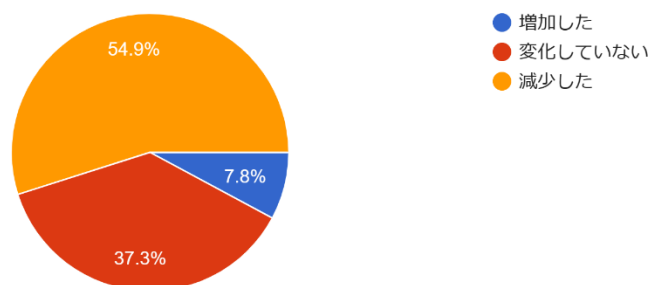
74件の回答



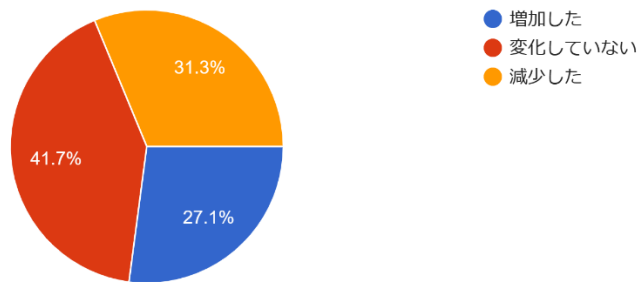
III 新型コロナウイルスの感染症について

III-1 新型コロナウイルス感染症が5類移行後、...感染症に関連した検査件数はどう変化しましたか

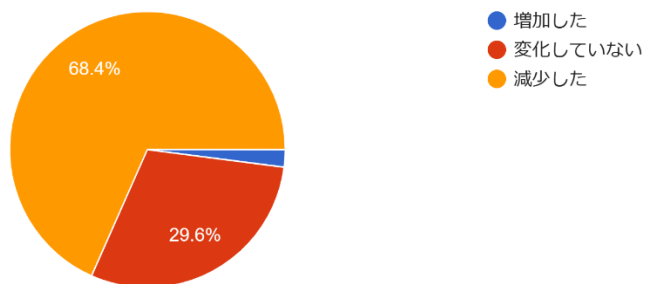
102件の回答



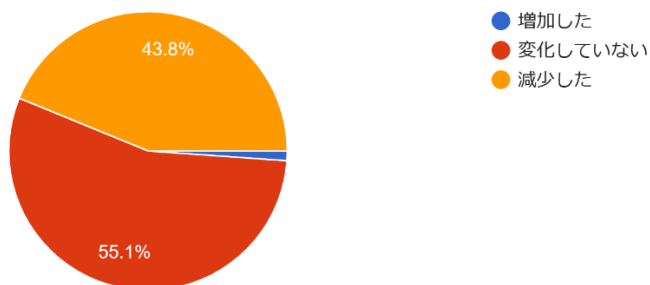
Ⅲ-1-i 新型コロナウイルス感染症が5類移行後、抗原検査の件数はどう変化しましたか
96件の回答



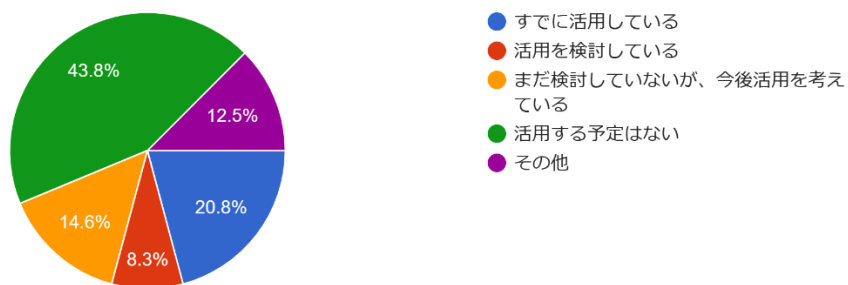
Ⅲ-1-ii 新型コロナウイルス感染症が5類移行...)検査、抗原定量検査の件数はどう変化しましたか
98件の回答



Ⅲ-1-iii 新型コロナウイルス感染症が5類移行後、抗体検査の件数はどう変化しましたか
89件の回答

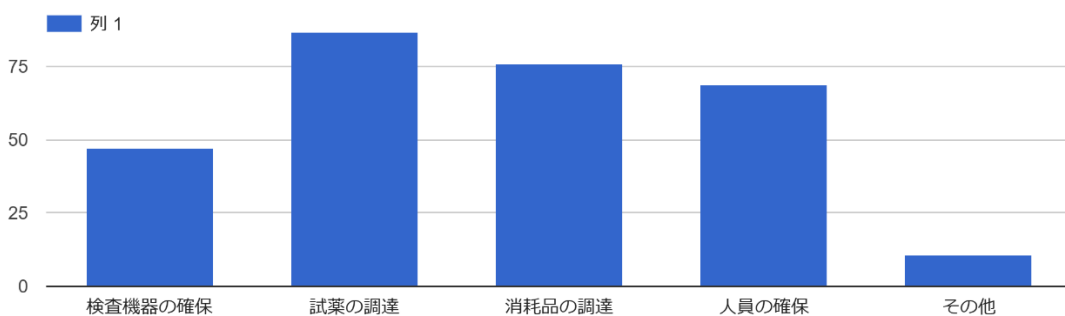


Ⅲ-2 新型コロナウイルス検査機器をその他の検査で活用していますか
96件の回答



IV 今後、パンデミックが発生した場合について

IV-1 今後パンデミックが発生した場合、課題となることは何だと思えますか



【まとめ】

I. 施設について

1. 回答施設数は110施設と昨年と比較して9.0ポイント減少した。今年度は、400床以下の規模の施設からの回答が低かった。
2. 外来患者数の分布割合は1日あたり500人以下の施設が最も多かった。
3. 各施設の臨床検査技師の在籍数は10人以下の施設が最も多く、割合は45%であった。
4. ISO-15189取得施設の分布割合は昨年度から変化が無かった。日臨技品質保証施設認証を取得している施設数は8施設であった。

II. タスクシフト・シェアについて

1. タスクシフト・シェアの講習会が行われていることを知らないと回答した施設が10.1%あった。施設毎の講習会修了者数は0人が最も多く47.2%、次いで1~3人が25%であった。
2. 所属部署にタスクシフト・シェアの業務要請は、76.1%の施設で対応を求められていないが、8.3%の施設では具体的な業務要請がされていることがわかった。最も多く対応を求められている業務は『持続皮下グルコース検査』であった。
3. タスクシフト・シェアの資格取得に関する費用は、「全額支給」が40.3%、「一部補助あり」が23.

6%、「全額自己負担」が36.1%であった。

4. 所属部署からタスクシフト・シェアの提案をしている施設は「すでに提案している」11.2%、「提案を検討している」23.5%で合わせて34.7%の施設が積極的にタスクシフト・シェアの実践に取り組んでいることがわかった。提案している業務でもっとも多かったものは『採血を行う際に静脈路を確保し、当該静脈路に点滴装置を接続する行為』で8施設、次いで『採血を行う際に静脈路を確保し、当該静脈路に接続されたチューブにヘパリン加生理食塩水を充填する行為』と『内視鏡用生検鉗子を用いて消化管の病変部位の組織の一部を採取する行為』の6施設であった。
5. タスクシフト・シェアの業務要請に対して、給与等の変化があった施設はなかった。

Ⅲ. 新型コロナウイルスの感染症について

1. 5類移行後の新型コロナウイルスに関連した検査数は54.9%の施設で減少しており、PCR検査、抗原定量検査で68.4%の施設で減少しているとの回答であった。しかし、抗原検査および抗体検査は変化していないとの回答が最も多かった。
2. 新型コロナウイルス検査機器をその他の検査で活用しているかの質問では、43.8%の施設で活用する予定がないとの回答であった。

Ⅵ. 今後、パンデミックが発生した場合について

1. 今後パンデミックが発生した場合に、課題になることは何だと思いかの質問に対し、「試薬の調達」が最も多く、次に「消耗品の調達」、「人員の確保」と続いた。新型コロナウイルス感染症流行時に試薬や消耗品の調達に苦労したことが伺える回答であった。
2. その他の意見として、「正確迅速な情報収集」や「環境整備」「どのような感染症がパンデミックを起こしたとしても臨床に 대응することができる検査体制の構築」「スタッフのモチベーション」等の意見が多かった。

毎年行っている実態調査にご協力ありがとうございます。今後も少しでも皆様のお役に立つようなアンケートにして参りたいと考えております。引き続きご協力お願い致します。